

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成23年11月11日
【四半期会計期間】	第21期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	株式会社サンマルクホールディングス
【英訳名】	Saint Marc Holdings Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 片山 直之
【本店の所在の場所】	岡山市北区平田173番地104
【電話番号】	086-246-0309（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 綱嶋 耕二
【最寄りの連絡場所】	岡山市北区平田173番地104
【電話番号】	086-246-0309（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 綱嶋 耕二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第20期 第2四半期 連結累計期間	第21期 第2四半期 連結累計期間	第20期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	20,286,104	21,734,172	40,791,227
経常利益(千円)	3,279,954	3,438,703	6,369,613
四半期(当期)純利益(千円)	1,574,060	1,851,535	3,119,848
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,563,173	1,857,501	3,124,061
純資産額(千円)	28,539,237	30,944,411	29,625,325
総資産額(千円)	36,236,497	39,199,871	37,525,235
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	138.98	163.48	275.46
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	78.8	78.9	78.9
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	2,479,332	2,963,523	5,463,874
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,363,689	2,044,999	2,643,717
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	750,739	828,920	1,498,027
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	8,848,314	9,884,476	9,804,324

回次	第20期 第2四半期 連結会計期間	第21期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	86.01	90.88

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第20期第2四半期連結累計期間及び第20期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。また、平成22年5月31日をもって新株予約権の権利行使期間が終了し消滅しており、第21期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
4. 第20期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### （1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、今年3月に発生した東日本大震災の影響により一時的に景気の落ち込みが見られましたが、サプライチェーン復旧に伴う生産の回復を受けてスピーディな持ち直しの動きがみられました。一方でギリシャの債務危機問題が欧州全体へ波及して影を落とす中、円高の進展や世界的な景気減速のトレンドにより、国内企業の輸出減少や企業収益の悪化に対する懸念が払拭されず、先行きに対する景況感是不透明なまま推移いたしました。

外食産業におきましては、震災直後における消費者の自粛ムードの反動により、一時的な堅調さはみられたものの、原発の放射性物質問題など食の安全に関わる要素が水を差し、停滞ムードの中、依然として消費者の節約志向は根強く、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは好立地への継続的な新規出店の推進や新業態（派生業態）の開発・実験に注力し、中長期の成長を見据えると同時に、既存店舗の品質・サービスレベルの維持向上を重点施策として推進してまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第2四半期連結累計期間中にベーカリーレストラン・サンマルク直営3店舗、フランチャイズ1店舗、計4店舗、宝田水産（すし業態の実験）直営1店舗、ベーカリーレストラン・バケット直営2店舗、グリルメニュー主体のBISTRO309直営1店舗、計3店舗、生麺工房鎌倉パスタ直営5店舗、サンマルクパスタ直営1店舗、パスタメニュー主体のBISTRO309直営2店舗、計8店舗、台湾小籠包直営2店舗、サンマルクカフェ直営14店舗、フランチャイズ1店舗、計15店舗、実験中の倉式珈琲店直営1店舗をそれぞれ出店（当第2四半期連結累計期間出店数：直営店32店舗、フランチャイズ店2店舗、合計34店舗）し、これにより当社グループ全業態の当第2四半期連結会計期間末の合計店舗数は、直営店546店舗、フランチャイズ店115店舗、合計661店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高217億34百万円（前年同期比7.1%増）、経常利益34億38百万円（同4.8%増）、四半期純利益18億51百万円（同17.6%増）となりました。

セグメント別の業績等は次のとおりであります。

レストラン事業売上高は115億79百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は21億49百万円（同0.3%増）となりました。

ファーストフード事業売上高は92億97百万円（前年同期比11.8%増）、営業利益は16億58百万円（同13.4%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は391億99百万円となり、前連結会計年度末と比較して16億74百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は123億83百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億1百万円の増加となりました。これは主に営業活動による利益の確保等に伴い現金及び預金が80百万円増加したこと及びショッピングセンターへの直営店出店増加により売掛金が1億42百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は268億15百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億73百万円増加となりました。これは主に事業拡充のための直営店出店等に伴う建物及び構築物が6億54百万円、店舗用地の取得に伴い土地が4億95百万円及び敷金及び保証金が2億30百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は53億71百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億45百万円の増加となりました。これは主に買掛金が69百万円増加したこと及び未払法人税等が1億11百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は28億84百万円となり前連結会計年度末と比較して1億9百万円の増加となりました。これは主に直営店出店に伴う資産除去債務が70百万円増加したこと等によるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して13億19百万円増加し、309億44百万円となりました。この結果、自己資本比率は78.9%となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益33億円の確保により、前年同四半期連結累計期間と比較して10億36百万円増加し、98億84百万円となりました。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は29億63百万円となり、前年同四半期連結累計期間と比較して4億84百万円の増加（前年同期比19.5%増）となりました。

この増加の主なものは、税金等調整前四半期純利益33億円の獲得及び減価償却費9億34百万円の発生等によるものであり、減少の主なものは、法人税等の支払が13億24百万円発生したこと等によるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は20億44百万円となり、前年同四半期連結累計期間と比較して6億81百万円の増加（同50.0%増）となりました。

この主なものは、店舗用地の土地取得を含む事業拡充のための有形固定資産の取得による支出17億53百万円、敷金及び保証金を含むその他投資取得による支出2億28百万円を行ったこと等によるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は8億28百万円となり、前年同四半期連結累計期間と比較して78百万円の増加（同10.4%増）となりました。

この主なものは、配当金の支払5億38百万円の資金支出を行ったこと及びファイナンス・リース債務返済支出が2億89百万円発生したこと等によるものであります。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	11,388,685	11,388,685	東京証券取引所 市場第一部	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
計	11,388,685	11,388,685	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成23年7月1日 ~ 平成23年9月30日	-	11,388,685	-	1,731,177	-	14,355,565

## (6)【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
片山直之	岡山市南区	3,058	26.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海1丁目8番11号	1,265	11.11
株式会社クレオ	岡山市南区東畦110番地の29	515	4.53
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	東京都港区浜松町2丁目11番3号	485	4.26
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	40 WATER STREET BOSTON MA 02109 U.S.A.	480	4.21
全国共済農業協同組合連合会	東京都千代田区平河町2丁目7番9号	301	2.65
株式会社中国銀行	岡山市北区丸の内1丁目15番20号	242	2.13
伊藤忠商事株式会社	東京都港区北青山2丁目5番1号	240	2.11
資産管理サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海1丁目8番12号 晴海アイランドトリトンスクエアオフィス タワーZ棟	180	1.59
中川佳子	京都府福知山市	113	1.00
計	-	6,884	60.45

(注) 当第2四半期会計期間末日現在における信託銀行の信託業務の株式数については、当社として把握することができないため記載しておりません。

## (7)【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 63,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,247,500	112,475	-
単元未満株式	普通株式 78,085	-	-
発行済株式総数	11,388,685	-	-
総株主の議決権	-	112,475	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が100株及び株主名簿上当社子会社である旧株式会社サンマルク(現株式会社サンマルクカフェ)名義となっておりますが、実質的に所有していない株式3,900株が含まれております。

2. 「単元未満株式」の欄には、証券保管振替機構名義株式52株、自己保有株式55株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社サンマルクホールディングス	岡山市北区平田173番地104	63,100	-	63,100	0.55
計	-	63,100	-	63,100	0.55

(注) 上記のほか、株主名簿上は当社子会社である旧株式会社サンマルク(現株式会社サンマルクカフェ)名義となっておりますが実質的に所有していない株式が3,900株あります。なお、当該株式数は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄の普通株式に含めております。

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、京都監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,804,324	9,884,476
売掛金	1,739,192	1,881,932
商品	221	180
原材料及び貯蔵品	165,041	191,898
その他	487,459	439,197
貸倒引当金	13,479	13,695
流動資産合計	12,182,761	12,383,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,307,190	12,961,645
土地	2,592,943	3,087,944
その他(純額)	1,790,690	1,869,774
有形固定資産合計	16,690,824	17,919,365
無形固定資産		
その他	88,437	118,991
無形固定資産合計	88,437	118,991
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,886,222	7,116,418
その他	1,676,990	1,661,106
投資その他の資産合計	8,563,213	8,777,524
固定資産合計	25,342,474	26,815,881
資産合計	37,525,235	39,199,871
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,180,519	1,250,063
未払金	1,668,953	1,664,582
未払法人税等	1,285,066	1,396,889
引当金	85,519	101,929
資産除去債務	5,369	8,572
その他	899,820	948,983
流動負債合計	5,125,249	5,371,022
固定負債		
引当金	64,856	72,344
資産除去債務	1,230,572	1,300,740
その他	1,479,232	1,511,352
固定負債合計	2,774,661	2,884,438
負債合計	7,899,910	8,255,460

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,038,800	3,038,800
利益剰余金	25,023,477	26,337,043
自己株式	176,226	176,672
株主資本合計	29,617,228	30,930,348
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,097	14,063
その他の包括利益累計額合計	8,097	14,063
純資産合計	29,625,325	30,944,411
負債純資産合計	37,525,235	39,199,871

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	20,286,104	21,734,172
売上原価	4,482,307	4,710,818
売上総利益	15,803,797	17,023,353
販売費及び一般管理費	12,534,201	13,588,831
営業利益	3,269,595	3,434,522
営業外収益		
受取利息	3,822	7,397
受取配当金	2,259	1,472
受取賃貸料	45,570	49,725
その他	31,488	6,430
営業外収益合計	83,140	65,025
営業外費用		
支払賃借料	39,360	44,606
持分法による投資損失	503	-
為替差損	14,189	9,450
その他	18,728	6,787
営業外費用合計	72,781	60,844
経常利益	3,279,954	3,438,703
特別利益		
固定資産売却益	3	-
貸倒引当金戻入額	387	-
投資有価証券売却益	890	-
特別利益合計	1,281	-
特別損失		
固定資産除却損	51,914	52,320
減損損失	47,840	85,548
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	361,460	-
特別損失合計	461,215	137,868
税金等調整前四半期純利益	2,820,020	3,300,835
法人税、住民税及び事業税	1,353,110	1,420,970
法人税等調整額	107,150	28,329
法人税等合計	1,245,959	1,449,299
少数株主損益調整前四半期純利益	1,574,060	1,851,535
少数株主利益	-	-
四半期純利益	1,574,060	1,851,535

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,574,060	1,851,535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,608	5,966
為替換算調整勘定	721	-
その他の包括利益合計	10,887	5,966
四半期包括利益	1,563,173	1,857,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,563,173	1,857,501
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,820,020	3,300,835
減価償却費	840,080	934,980
減損損失	47,840	85,548
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	361,460	-
その他の引当金の増減額(は減少)	67,359	23,898
貸倒引当金の増減額(は減少)	387	216
受取利息及び受取配当金	6,081	8,870
支払利息	5,882	331
為替差損益(は益)	14,189	9,450
持分法による投資損益(は益)	503	-
投資有価証券売却損益(は益)	890	-
有形固定資産売却損益(は益)	3	-
固定資産除却損	51,914	52,320
売上債権の増減額(は増加)	203,804	142,740
たな卸資産の増減額(は増加)	22,785	26,815
仕入債務の増減額(は減少)	125,436	69,544
未払金の増減額(は減少)	290,118	26,824
その他	61,592	15,461
小計	3,905,759	4,287,335
利息及び配当金の受取額	2,520	1,615
利息の支払額	5,858	681
法人税等の支払額	1,423,088	1,324,746
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,479,332	2,963,523
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	1,053,510	1,753,267
有形固定資産の除却による支出	4,527	8,835
無形固定資産の取得による支出	21,442	43,828
投資有価証券の取得による支出	35	30
投資有価証券の売却による収入	1,859	-
資産除去債務の履行による支出	3,532	10,637
その他	282,501	228,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,363,689	2,044,999
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	155	445
配当金の支払額	518,005	538,655
ファイナンス・リース債務の返済による支出	232,579	289,819
財務活動によるキャッシュ・フロー	750,739	828,920
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,189	9,450
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	350,713	80,152
現金及び現金同等物の期首残高	8,497,601	9,804,324
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,848,314	9,884,476

## 【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

## 【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

## (1) 連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

## (2) 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

## 【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

該当事項はありません。

## 【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

該当事項はありません。

## 【追加情報】

当第2四半期連結累計期間  
（自平成23年4月1日  
至平成23年9月30日）

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日）を適用しております。

## 【注記事項】

（四半期連結損益計算書関係）

前第2四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）
1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
給与賞与 4,508,094千円	給与賞与 4,952,569千円
賞与引当金繰入額 104,633千円	賞与引当金繰入額 101,929千円
賃借料 3,363,655千円	賃借料 3,584,472千円

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在) 千円	1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在) 千円
現金及び預金勘定 8,848,314	現金及び預金勘定 9,884,476
現金及び現金同等物 8,848,314	現金及び現金同等物 9,884,476

## (株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

## 1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月24日 定時株主総会	普通株式	520,994	46.00	平成22年3月31日	平成22年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末  
後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年11月11日 取締役会	普通株式	481,352	42.50	平成22年9月30日	平成22年12月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

## 1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	537,969	47.50	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末  
後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月10日 取締役会	普通株式	509,648	45.00	平成23年9月30日	平成23年12月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1・2	四半期連結損益計算書 計上額 (注)3
	レストラン	ファーストフード			
売上高					
外部顧客への売上高	11,028,903	8,314,609	19,343,513	942,591	20,286,104
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	11,028,903	8,314,609	19,343,513	942,591	20,286,104
セグメント利益	2,142,427	1,462,882	3,605,310	335,714	3,269,595

(注)1. 外部顧客への売上高の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上であります。

2. セグメント利益の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上原価201,521千円、各報告セグメントに配分していない全社費用1,076,784千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「ファーストフード」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1・2	四半期連結損益計算書 計上額 (注)3
	レストラン	ファーストフード			
売上高					
外部顧客への売上高	11,579,312	9,297,673	20,876,985	857,187	21,734,172
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	11,579,312	9,297,673	20,876,985	857,187	21,734,172
セグメント利益	2,149,651	1,658,308	3,807,960	373,438	3,434,522

(注)1. 外部顧客への売上高の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上であります。

2. セグメント利益の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上原価189,840千円、各報告セグメントに配分していない全社費用1,040,785千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「ファーストフード」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(金融商品関係)

前連結会計年度末日に比べて著しい変動がないため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

前連結会計年度末日に比べて著しい変動がないため、記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	138円98銭	163円48銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,574,060	1,851,535
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,574,060	1,851,535
普通株式の期中平均株式数(株)	11,325,930	11,325,600

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、平成22年5月31日をもって新株予約権の権利行使期間が終了し消滅しており、当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

平成23年11月10日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

1. 配当金の総額 509,648千円
2. 1株当たりの金額 45円
3. 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成23年12月9日

(注) 平成23年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月11日

株式会社サンマルクホールディングス  
取締役会 御中

### 京都監査法人

指定社員 公認会計士 山本 眞吾 印  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 高田 佳和 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンマルクホールディングスの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンマルクホールディングス及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が四半期連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。